

事業番号	05 03 11	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	産科医等確保支援事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	医療推進課医師確保対策室	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	doctor@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 3 医療従事者の養成・確保			実施期間	H21 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>分娩を取り扱う産科医及び分娩施設が減少していることから、分娩を取り扱う産科医・助産師に対する手当(いわゆる分娩手当)の支給を支援することにより、産科医等及び産科医療機関の確保を図る。</p> <p>また、帝王切開術による出産件数の増加に伴い、時間外の帝王切開術実施のために呼び出しを受ける産科医等に対する手当の支給を支援することにより、産科医等の処遇改善を図る。</p> <p>成果目標:人口10万人当たり医療施設従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29) 参考 211.4人(H24)</p>
------	--

現状(予算編成時)	<p>○県内における分娩取扱医療機関の減少(H13:68箇所 ⇒ H26.11:45箇所)</p> <p>○近年、産科医は増加しているものの依然として不足感が強く、引き続き産科医を確保する必要がある。</p>
-----------	--

県が関与する理由	<p>県関与の必要性あり</p> <p>【左記の説明、根拠法令等】 地域医療介護総合確保基金を活用し実施することが効果的である。 産科医等確保支援事業補助金交付要綱</p> <p>県民との協働による実施:実施は困難</p>
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)				
	<p>○補助事業実施施設(病院・診療所・助産所)を現状(H26:39施設)以上とする。</p> <p>○現状の分娩を取り扱う医療機関数(45箇所)を維持する。</p>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求) (予算案)
	分娩手当支給への支援	補助金	産科医等に対して分娩手当を支給した医療機関に対し、補助金を交付	52,191	52,191 46,972
	時間外の帝王切開術のための呼び出しに対する手当支給への支援	補助金	時間外の帝王切開術のための呼び出しに対する手当を支給した医療機関に対し、補助金を交付		15,200 7,134
	合計			52,191	67,391 54,106

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況				
	前年度繰越						項目	H26末(見込)	H27		H28目標
	当初予算	50,546	52,191	52,191	67,391	54,106			目標	成果	達成状況
	補正予算		-10,629				事業実施施設数	39	39		
	合計(A)	50,546	41,562	52,191	67,391	54,106	県内分娩取扱施設数	45	45		
	一般財源		7,010								
	県債										
	国庫支出金	50,546	34,552	52,191							
	その他	0	0	0	67,391	54,106					
	決算額(B)	38,541	33,739								
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30					
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	2,477	2,477					
		41,018	36,216	54,668	69,868	56,583					

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	<p>○分娩手当支給への支援について、過去の実績を考慮し減額。</p> <p>○時間外の帝王切開術対応の手当支給に対する支援について、事業の優先度を考慮し、事業費を減額。</p>
------------	---